

学校名	神埼市立千代田中部小学校		
1 前年度 評価結果の概要	・時間外勤務削減についての取組には個人差がある。組織として勤務体制の工夫や業務の見直し、デジタル化、共有化等をさらに進めながら、時間外勤務を減らしていきたい。 ・学力調査において、すべての学年の正答率が県の正答率や全国の目標値と同等か上回ることができた。しかしながら、思考・判断・表現の観点ではまだ課題が残る。 ・学習環境整備や授業づくりにUDの視点を取り入れたことは学力向上にもつながっている。今後もいろいろな学習活動にUDの視点を取り入れていきたい。		
2 学校教育目標	「賢く 優しく 逞しく」自分で考え行動できる児童の育成		
3 本年度の重点目標	1 全職員で全児童を見守る組織作り 2 勤務時間の縮減に繋がる業務効率化・適正化、組織体制の工夫 3 学力向上（ICT利活用教育の充実／／思考力・判断力・表現力の育成／家庭学習の充実） 4 ユニバーサルデザイン教育の推進		
4 重点取組内容・成果指標			
(1) 共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・取組への進捗状況の情報交換を行い、共有化を図る。 ・マイプランについて、学期に1回振り返りを行い、自身の取組への意識の継続化を図る。
	○表現力(発信力)と共感力の向上のための授業改善・環境改善	○学習状況に関するアンケートにおいて、「授業がよく分かる」「自分の考えを伝えることが好き」と回答した児童80パーセント以上	・様々な教科の授業で考えを伝え合う時間を設定する。 ・スキルタイムの共通実践で、音読や語彙力計算力の定着を図る。 ・学習規律を整え、家庭との連携を図りながら学習習慣の定着を図る。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○思いやりや道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・児童に道徳に関するアンケートを行う。 ・平和に関する集会や、人権に関する仲良し集会企画・実施。 ・保護者が参画したふれあい道徳を実施。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について、組織的対応ができていないと回答した教師80%以上	・心のアンケートを毎月実施し、事後対応や指導を適切に行うよう働きかける。 ・いじめの認知・認知に対する対応マニュアルの周知を図る。 ・いじめの対応についての研修会を年一回以上行う。
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・各学級や教師が行っている、児童それぞれの良い点や頑張りを見つけて称賛する取り組みを、紹介し共有するミニ研修を設定する。 ・授業中や様々な行事の中で、児童に多くの出番や役割を与えて称賛し、振り返りで価値づけを必ず行うことで、次の活動への意欲や自分の生活・生き方への展望をもたせるようにする。
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○生活習慣に関するアンケートで肯定的な回答した児童80%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童94%以上	・早寝・早起き・朝ごはんについての保健指導を全学年に行う。また、保健だよりを通して保護者へ継続的な呼びかけを行う。 ・1日3食きちんと食べる、好き嫌いなく食べることの大切さを、給食・食育指導で伝え、定着を図る。また、家庭の協力を得るため、啓発の便りを定期的に発行する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・パソコンによる業務管理の徹底 ・定時退勤日の設定 ・時間外勤務時間のフィードバックによる個々人の業務改善の推進 ・業務分担、計画的な業務推進等による年休取得率アップ
	○3部会制の導入による学校運営への参画	○自らの校務分掌において、学校目標達成のための働きができたと回答した教師80%以上	・自己申告書の自己目標と学校評価で担当した校務分掌上の目標を連動させ、日常の業務を遂行する。
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○ユニバーサルデザインに基づく教育環境整備	○個々が大切にされる学校風土の醸成	○UDの視点を取り入れた教室環境整備について尋ねるアンケートで、肯定的に回答した教師80%以上。 ○UDの視点を取り入れた授業作りについての意識が高まったかを尋ねるアンケートで肯定的	・教育のUDに関する研修会を年2回以上実施する。また各学級の取り組みや実践を研修会等で紹介をし、全職員でUDに関する意識を高める体制を作る。
○タブレットを活用した学習活動の充実	○各教科でタブレットを積極的に使用する	○タブレット使用のアンケートで週3時間程度使用したと答えた割合が80%以上。	・校内研究でタブレットの活用法について研修を行う。各教科で行った効果的な取り組み実践を紹介し、情報を共有化していく。
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育			
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・		